

平成23年度採択（第1期） 研究成果報告会



研究総括 上田 泰己

平成23年12月に発足した「細胞構成」研究領域は、この度、初年度採択のさきがけ研究者13名の成果報告会を開催する運びとなりました。本研究領域では、分子の設計から個体システムの合成まで多岐にわたる構成的アプローチによって生命の理解と幅広い応用を目指しております。今回、報告するさきがけ研究者は、これまで、5回の領域会議での活発な討議を踏まえ、それぞれの専門分野を超えて、独創性のある研究成果に発展させて参りました。また、自主的な勉強会を開き、切磋琢磨して、お互いの研究課題に理解を深めました。このように活発なネットワークを構築することができ、そこには、新しい考えが生まれ、発見があり、共同研究も始まっています。この度、その成果を発表いたします。また、特別講演として、国立国際医療研究センター 研究所長 清水 孝雄 先生をお招きし、「リン脂質多様性の形成機構と生物学的意義」と題する講演をお願いしております。生理活性脂質が細胞の分化と増殖、また生体防御や神経機能の調節までも関わっていることを、分かりやすくお話して頂きます。ご期待ください。

さきがけ研究の成果の一般公開にあたり、幅広い見地から評価を頂きますとともに、成果の活用展開への機会といたしたく、奮ってご参加いただけますことをお願いいたします。

平成26年
11月21日(金)

受付	9:00
口頭発表	9:30~18:10
ポスター発表	11:30~14:00

東京大学 理学部化学館 5F 化学講堂
(東京大学本郷キャンパス)

入場
無料

お申込みHP | <http://www.jst.go.jp/presto/synbio/>



9:30 ~ 9:40

開会の辞 研究総括 (東京大学 大学院医学系研究科 教授)
上田 泰己

9:40 ~ 10:40

細胞形状と運動の自己組織的挙動の
理解と操作
澤井 哲

分子輸送から解く生命の起源：
構造、情報、輸送の動的結合の解明と
新たな分子操作技術の確立
前多 裕介

バクテリア再構成法の開発
田端 和仁

10:50 ~ 11:30

動物胚の頑強な相似性を保証する発生場
スケーリングのシステム制御機構
猪股 秀彦

細胞分裂周期の in vitro 再構成への挑戦
持田 悟

昼食/ポスター発表 (第2・3期生)

14:00 ~ 14:50

特別講演
「リン脂質多様性の
形成機構と生物学的意義」

清水 孝雄
国立国際医療研究センター 研究所長

14:50 ~ 15:50

無細胞合成生物学による
人工二次代謝産物の発見と生産
後藤 佑樹

細胞内環境操作法による
疾患モデル細胞の創成
加納 ふみ

染色体複製系の周期的駆動にむけた
回路の再構成
末次 正幸

16:00 ~ 17:00

非平衡人工細胞モデルの時空間ダイナミクス
定量解析
瀧ノ上 正浩

分子複合体と動物個体での機能を結ぶ
1分子可視化計測
茅 元司

構成的アプローチによる植物の生物時計の
組織特異的な役割の解明
遠藤 求

17:10 ~ 17:50

人工遺伝子回路を利用して発生現象に迫る
石松 愛

カイメンが工学的に優れた骨格構造を
自律的に構築するメカニズムの解明
船山 典子

17:50 ~ 18:10

講評 研究総括 上田 泰己
閉会の辞 (独) 科学技術振興機構